

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	広島修道大学
設置者名	学校法人 修道学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
商学部	商学科	夜・通信	8	22	0	30	13	
	経営学科	夜・通信			0	30	13	
人文学部	人間関係学科	夜・通信		14	0	22	13	
	英語英文学科	夜・通信			0	22	13	
	教育学科	夜・通信			0	22	13	
法学部	法律学科	夜・通信		6	6	20	13	
	国際政治学科	夜・通信			4	18	13	
経済科学部	現代経済学科	夜・通信		10	0	18	13	
	経済情報学科	夜・通信			0	18	13	
人間環境学部	人間環境学科	夜・通信		0	14	22	13	
健康科学部	心理学科	夜・通信		2	6	16	13	
	健康栄養学科	夜・通信			8	18	13	
国際コミュニティ学部	国際政治学科	夜・通信		10	2	20	13	
	地域行政学科	夜・通信			6	24	13	
(備考) 人文学部人間関係学科心理学専攻は2017年度より学生募集停止 健康科学部心理学科・健康栄養学科は2017年度より開設 法学部国際政治学科は2018年度より学生募集停止 国際コミュニティ学部国際政治学科・地域行政学科は2018年度より開設								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある教員等による授業科目の一覧は Web サイトに一覧表を掲載 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/mea4t50000000jdp-att/5-4-2-2023.pdf">https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/mea4t50000000jdp-att/5-4-2-2023.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島修道大学
設置者名	学校法人 修道学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園 Web サイト上で公表 <a href="http://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/Officer_list.html">http://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/Officer_list.html</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	現職なし (前職：広島県議会議員)	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	法人業務の総理
非常勤	現職なし (前職：(株)もみじ銀行頭取)	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	(株)福屋代表取締役会長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	(株)中国新聞社特別顧問	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	広島電鉄(株)代表取締役社長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	オタフクホールディングス(株)代表取締役社長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	法人通常業務の遂行
非常勤	(株)中電工代表取締役会長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	現職なし (前職：(株)ヨンドシーホールディングス取締役相談役)	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	(株)サクラオブルワリーアンドディスティラリー代表取締役社長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	(株)ザイエンス代表取締役会長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	現職なし (前職：広島ガス(株)代表取締役)	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	法人通常業務の遂行

非常勤	広島信用金庫特別顧問	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	法人通常業務の遂行
非常勤	(株)広重代表取締役社長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	(学)上野学園理事長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	(株)東洋デリー製薬代表取締役	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	大旗連合建築設計(株)取締役部長	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	(有)アルファトップ代表取締役	2023. 5. 29 ～2026. 5. 28	組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島修道大学
設置者名	学校法人 修道学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学では、開講する全ての科目について、担当教員にシラバスの作成を義務付けている。シラバスの作成方法や記載する事項を示した文書に、記載見本を付けて、担当教員に配付している。</p> <p>記載必須事項は、授業題目、授業の概要、学修の到達目標、授業計画(授業回数分すべてを記載)、授業外学習の課題、履修上の注意事項、成績評価の方法・基準、オフィスアワー及び質問・相談への対応である。また、テキストや参考文献は任意記載事項であるが、少なくともどちらか一方を記載するようにしている。実務経験のある教員による授業科目については、授業の概要において授業に関連する実務経験を記載している。</p> <p>なお、シラバスの記載内容のチェックを各学部等において実施している。シラバスはWebサイト上で公表しており、次年度のシラバスは毎年3月下旬の公表である。</p>	
授業計画書の公表方法	Webサイト上で公表 <a href="http://syllabus.shudo-u.ac.jp/">http://syllabus.shudo-u.ac.jp/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修意欲は、出席を中心に把握している。大・中教室にはICカードリーダーを設置し出席調査を行っており、語学など少人数の科目においては、担当教員が直接出席を管理している。</p> <p>学修の評価は、AA、A、B、C、Dの5段階で行い、Dを不合格とすることを学則で定めている。評価の基準は、100～90点：AA、89～80点：A、79～70点：B、69～60点：C、59点以下：Dである。</p> <p>毎学期の終了後に1週間程度の期間を設けて定期試験を実施し、その結果に基づいた成績評価及び単位認定を実施している。定期試験以外の成績評価方法として、レポート、課題提出、授業での取り組みなどがあり、シラバスに記載している成績評価方法に基づき単位認定を実施している。</p> <p>全ての科目において成績評価方法をシラバスに明記し、学生に周知している。なお、単位認定方法や成績評価基準については、成績発表ガイダンスでも学生に説明している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  成績評価において、客観的指標としてG P Aを設定している。  G P Aは素点(評価点)をもとに次のように計算している。</p> $G P = (\text{評価点}-55) / 10 \text{ (ただし、} G P < 0.5 \text{は} G P = 0.0 \text{とする)}$ $G P A = (\text{履修科目の} G P \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和} / \text{履修科目単位数の総和}$ <p>なお、学生が自分の成績状況やG P Aの点数をいつでも確認できる手段として、Webシステム(学習カルテ)を構築し、学びの点検ツールとしてG P Aを取り入れている。  また、成績の分布状況については、教授会等で資料を配布し把握している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/education.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/education.html</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  大学全体の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を下記のとおり定めている。</p> <p>広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を学士課程教育において身につけるべき学士力として明示します。</p> <p>1. 知識と技能  講義、ゼミナールなどでの読む・聴く・書く・話すことの反復をとおして、各学問分野の知識を収集・整理・理解し、分析・表現することができるようになること。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力  修得した知識と技能をもって、自ら課題を発見し、課題の解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持つようになること。</p> <p>3. 多様な人々との「協創」  グローバル化及び人口減少が進んでいくわが国において、主体性をもって多様な人々と「協力して価値を創造」(「協創」)し、学びあう態度を養うこと。</p> <p>この方針のもと、学部・学科ごとに特色を反映した学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を定めている。学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)、教育研究上の目的や特色・ねらい、卒業要件について『学修の手引き』に記載し周知を図っている。  卒業認定にあたっては、卒業の要件を学則及び学部ごとの履修細則で定め、修得単位及び在学期間に基づき、教授会で卒業判定を実施し卒業認定者を発表している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/unvi.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/unvi.html</a>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	広島修道大学
設置者名	学校法人 修道学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html">https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html</a>
収支計算書又は損益計算書	Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html">https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html</a>
財産目録	Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html">https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html</a>
事業報告書	Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/index.html</a>
監事による監査報告(書)	Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html">https://www.shudo-u.ac.jp/gakuen/publicinfo/financial.html</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2023年度広島修道大学事業計画 対象年度:2023年度)
公表方法:Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/planreport.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/planreport.html</a>
中長期計画(名称:中期事業計画(2020年度-2024年度)対象年度:2020年度~2024年度)
公表方法:Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/planreport.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/planreport.html</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/quality/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/quality/index.html</a> <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/quality/mea4t5000000j16-att/2022jikotenken.pdf">https://www.shudo-u.ac.jp/information/quality/mea4t5000000j16-att/2022jikotenken.pdf</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:Web サイト上で公表 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/quality/evaluation.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/quality/evaluation.html</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商学部／人文学部／法学部／経済科学部／人間環境学部／健康科学部 ／国際コミュニティ学部
教育研究上の目的（公表方法：Web サイト上で公表） 〈教育研究上の目的と教育方針〉 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/index.html</a>
（概要） 広島修道大学は、広島藩の講学所を淵源とする修道学園が設置する大学であり、「道を修める」という建学の精神に基づき、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念、教育目標として掲げています。 本学の「修道」という名は、中国の古典『中庸』の「道を修めるこれを教えという」に由来します。「道を修める」とは「学びの道を整える」営みであり、その実践を本学の教育として位置づけます。そしてこの教育する力こそを「修道力」として定義します。 本学は、グローバル化及び人口減少が進んでいく現状を理解し、地域社会と連携しながら、この目標を実現できるように努めます。
卒業の認定に関する方針（公表方法：Web サイト上で公表） （概要） 〈教育研究上の目的と教育方針〉 <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/index.html</a>  ●広島修道大学の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/unvi.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/unvi.html</a> ●商学部（商学科／経営学科）の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html</a> ●人文学部（人間関係学科社会学専攻／教育学科／英語英文学科）の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html</a> ●法学部（法律学科）の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html</a> ●経済科学部（現代経済学科／経済情報学科）の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html</a> ●人間環境学部（人間環境学科）の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html</a> ●健康科学部（心理学科／健康栄養学科）の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html</a> ●国際コミュニティ学部（国際政治学科／地域行政学科）の教育方針（3つのポリシー） <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html</a>  広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることを教育目標とします。この目標のもと、以下の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「協創力」を学士課程教育において身につけるべき学士力として明示します。 1. 知識・技能 地球的視野を持つために、幅広い知識と各専門分野の専門的知識を修得し、その知識を応用、実践するための技能を身につけている。

## 2. 思考力・判断力・表現力

持続的な社会の創出に貢献するために、修得した知識と技能を基礎に、自ら課題を発見し、課題解決の方向性を思考・判断することができる。また、自らの考えや提案を他者に伝え、他者の考えを受容し、円滑なコミュニケーションを行うための表現力を身につけている。

## 3. 協創力

自らが生きる地域社会に貢献するために、主体性を持って多様な人々と協力し価値を創造する意欲と実行力を身につけている。

### 教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web サイト上で公表）

（概要）

〈教育研究上の目的と教育方針〉

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/index.html>

● 広島修道大学の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/unvi.html>

● 商学部（商学科／経営学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

● 人文学部（人間関係学科社会学専攻／教育学科／英語英文学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

● 法学部（法律学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

● 経済科学部（現代経済学科／経済情報学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

● 人間環境学部（人間環境学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

● 健康科学部（心理学科／健康栄養学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

● 国際コミュニティ学部（国際政治学科／地域行政学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

広島修道大学は、学生一人ひとりが円滑に大学での学修を開始し、学士課程をとおして深い学識を身につけ、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を教育課程の編成方針として明示します。

### 1. 基礎から発展へ

学士課程教育に必要な基礎的な知識や技能を身につけるために、初年次教育科目を置きます。高度な知識や技能を修得するために、各学問分野の主専攻科目を体系的に開設し、主体的な学修を促し、グローバル化や情報化の進展にも対応した教育プログラムを設けます。

### 2. 視野の拡大

豊かな人間性を培い、思考力・判断力・表現力を養うために全学共通教育科目を開設し、他の学部・学科・専攻の主専攻分野を専門的に学ぶことのできる副専攻制度を設けます。

### 3. 経験の拡充

「協創」して実社会・地域社会を学べるように、課題解決型実習科目・キャリア教育科目を設けます。グローバル教育科目及び留学制度を充実させて、多様な価値観や異文化の理解を促します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web サイト上で公表）

（概要）

〈教育研究上の目的と教育方針〉

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/index.html>

●広島修道大学の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/unvi.html>

●商学部（商学科／経営学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

●人文学部（人間関係学科社会学専攻／教育学科／英語英文学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

●法学部（法律学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

●経済科学部（現代経済学科／経済情報学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

●人間環境学部（人間環境学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

●健康科学部（心理学科／健康栄養学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

●国際コミュニティ学部（国際政治学科／地域行政学科）の教育方針（3つのポリシー）

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/policy/archive/index.html>

広島修道大学は、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることができる可能性を持った人を受け入れるため、以下の3点を学生受け入れの方針として明示します。

1. 求める学生像

世界、日本及び地域社会に関心を持つ人、商業、経営、経済、情報、文化、言語、社会、教育、心理、健康、法律、国際政治、環境、地域行政等に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と「協創」して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。

2. 入学試験制度と評価

本学の各学科・専攻で学ぶために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために、(1) 一般選抜、(2) 共通テスト利用選抜、(3) 一般・共通テスト併用選抜を実施します。上記の要素に加え、多様な人々と「協創」して学ぶ態度を見るために(4) 総合型選抜、(5) 学校推薦型選抜（公募）、(6) 学校推薦型選抜（指定校）、(7) 学校推薦型選抜（附属校）、(8) 社会人選抜、(9) 帰国生選抜、(10) 外国人留学生選抜、(11) 編入学試験、学士入学試験などの入学試験を実施します。

合否判定にあたっては、共通テスト、個別学力検査、調査書、面接、出願書類等を組み合わせ、多面的・総合的に評価・判定します。

3. 本学の教育を通じて養う能力

本学の教育目標を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と「協創」して学びあう能力を身に付けた学生を育成します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：Web サイト上で公表

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5人	—					5人
商学部	—	22人	11人	2人	人	人	35人
人文学部	—	29人	5人	1人	2人	人	37人
法学部	—	12人	6人	1人	4人	人	23人
経済科学部	—	16人	11人	3人	人	人	30人
人間環境学部	—	10人	3人	1人	3人	人	17人
健康科学部	—	20人	2人	1人	1人	3人	27人
国際コミュニティ学部	—	15人	3人	1人	2人	人	21人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			352人				352人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：教員一覧・教員データベースにて公表 ( <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/research/kyouindb.html">https://www.shudo-u.ac.jp/research/kyouindb.html</a> )					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
2022年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート（学生による授業評価）を年2回実施。</li> <li>・学部・学科単位での公開授業実施。（参観した教職員からアドバイスシートによって意見聴取を行い、実施教員及び参観教員の授業改善の参考としている。）</li> <li>・各学部、研究科ごとにFD推進委員会開催。</li> <li>・全学対象FD・SD研修会を2回開催。（その他に学部・学科・専攻単位での研究会や講演会も開催。）</li> <li>・各学部、研究科単位でFD研修会を開催。</li> <li>・教員評価の自己評価項目に教育意識の高揚を図るため、授業改善に関する項目を設けている。</li> <li>・FD・SDニューズレターの発行。</li> </ul>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商学部	295人	318人	107.8%	1,180人	1,290人	109.3%	0人	0人
人文学部	270人	296人	109.6%	1,080人	1,187人	109.9%	0人	0人
法学部	195人	212人	108.7%	780人	885人	113.5%	0人	1人
経済科学部	230人	254人	110.4%	920人	1,027人	111.6%	0人	0人
人間環境学部	115人	120人	104.3%	460人	500人	108.7%	0人	0人
健康科学部	160人	166人	113.8%	640人	681人	106.4%	0人	0人
国際コミュニ ティ学部	150人	156人	104.0%	600人	653人	108.8%	0人	0人
合計	1,415人	1,522人	107.6%	5,660人	6,223人	109.9%	0人	1人
（備考）編入学については、学生数に欠員があるときに認める。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商学部	329人 (100%)	5人 ( 1.5%)	301人 ( 91.5%)	23人 ( 7.0%)
人文部	233人 (100%)	8人 ( 3.4%)	197人 ( 84.6%)	28人 ( 12.0%)
法部	186人 (100%)	3人 ( 1.6%)	160人 ( 86.0%)	23人 ( 12.4%)
経済科学部	213人 (100%)	1人 ( 0.5%)	195人 ( 91.5%)	17人 ( 8.0%)
人間環境学部	112人 (100%)	3人 ( 2.7%)	99人 ( 88.4%)	10人 ( 8.9%)
健康科学部	160人 (100%)	10人 ( 6.3%)	132人 ( 82.4%)	18人 ( 11.3%)
国際コミュニ ティ学部	151人 (100%)	0人 ( 0.0%)	129人 ( 85.4%)	22人 ( 14.6%)
合計	1,384人 (100%)	30人 ( 2.2%)	1,213人 ( 87.6%)	141人 ( 10.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) (主な進学先) 広島修道大学大学院、広島大学大学院、岡山大学大学院 など (主な就職先) 鹿島建設、アイリスオーヤマ、中国電力、日本銀行、広島銀行、東京海上日動火災保険、 国家一般職、広島県職員、広島市職員、広島県・広島市公立学校教員 など				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
商学部	330人 (100%)	294人 ( 89.1%)	20人 ( 6.1%)	16人 ( 4.8%)	0人 ( 0%)
人文学部	243人 (100%)	213人 ( 87.7%)	23人 ( 9.5%)	7人 ( 2.9%)	0人 ( 0%)
法学部	213人 (100%)	174人 ( 81.7%)	23人 ( 10.8%)	16人 ( 7.5%)	0人 ( 0%)
経済科学部	228人 (100%)	195人 ( 85.5%)	26人 ( 11.4%)	7人 ( 3.1%)	0人 ( 0%)
人間環境学部	122人 (100%)	99人 ( 81.2%)	15人 ( 12.3%)	8人 ( 6.6%)	0人 ( 0%)
健康科学部	172人 (100%)	150人 ( 87.2%)	14人 ( 8.1%)	8人 ( 4.7%)	0人 ( 0%)
国際コミュニ ティ学部	157人 (100%)	138人 ( 87.9%)	15人 ( 9.6%)	4人 ( 2.5%)	0人 ( 0%)
合計	1,465人 (100%)	1,263人 ( 86.2%)	136人 ( 9.3%)	66人 ( 4.5%)	0人 ( 0%)
(備考) 中途退学者の主たる要因は経済的な事情や進路変更等である。 人間環境学部から商学部へ1名転部した学生がいたため、該当学生数分、転部元の学部において入 学者数を減らして転部先の学部において入学者数を増やしている。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学では、開講する全ての科目について、担当教員にシラバスの作成を義務付けている。シラバスの作成方法や記載する事項を示した文書に、記載見本を付けて、担当教員に配付している。</p> <p>記載必須事項は、授業題目、授業の概要、学習の到達目標、授業計画（授業回数分すべてを記載）、授業外学習の課題、履修上の注意事項、成績評価の方法・基準、オフィスアワー及び質問・相談への対応である。また、テキストや参考文献は任意記載事項であるが、少なくともどちらか一方を記載するようにしている。実務経験のある教員による授業科目については、授業の概要において授業に関連する実務経験を記載している。</p> <p>なお、シラバスの記載内容のチェックを各学部等において実施している。</p> <p>シラバスは Web サイト上で公表しており、次年度のシラバスは毎年 3 月下旬の公表である。</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学修の評価は、AA、A、B、C、Dの5段階で行い、Dを不合格とすることを学則で定めている。評価の基準は、100～90点：AA、89～80点：A、79～70点：B、69～60点：C、59点以下：Dである。</p> <p>毎学期の終了後に1週間程度の期間を設けて定期試験を実施し、その結果に基づいた成績評価及び単位認定を実施している。定期試験以外の成績評価方法として、レポート、課題提出、授業での取り組みなどがあり、成績評価方法に基づき単位認定を実施している。全ての科目において成績評価方法をシラバスに明記し、学生に周知している。</p> <p>なお、単位認定方法や成績評価基準については、成績発表ガイダンスでも学生に説明している。</p> <p>大学全体の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）のもと、学部・学科ごとに特色を反映した学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育研究上の目的や特色・ねらい、卒業要件について『学修の手引き』に記載し周知を図っている。</p> <p>卒業認定にあたっては、卒業の要件を学則及び学部ごとの履修細則で定め、修得単位及び在学期間に基づき教授会で卒業判定を実施し卒業認定者を発表している。</p>
---

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
商学部	商学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
	経営学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
人文学部	人間関係学科 (心理学専攻は 2017年度学生募集 停止)	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
	教育学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
	英語英文学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
法学部	法律学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位

	国際政治学科 (2018年度学生募集停止)	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
経済科学部	現代経済学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
	経済情報学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
人間環境学部	人間環境学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
健康科学部	心理学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
	健康栄養学科	1 2 4 単位	有・無	4 6 単位
国際コミュニケーション学部	国際政治学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
	地域行政学科	1 2 4 単位	有・無	4 4 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法:Webサイト上で公表 (PDFデータの8~9枚目) <a href="https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/education.html">https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/education.html</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

Web サイト上で公表 <https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/land.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
商学部 *1	商学科	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
	経営学科	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
人文学部	人間関係学科 (心理学専攻) *2	798,000 円	—	220,000 円	その他:施設設備資金
	人間関係学科 (社会学専攻) *1	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
	教育学科 *1	810,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
	英語英文学科 *1	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
法学部	法律学科 *1	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
	国際政治学科 *3	780,000 円	—	220,000 円	その他:施設設備資金
経済科学部 *1	現代経済学科	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
	経済情報学科	810,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
人間環境学部 *1	人間環境学科	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
健康科学部 *4	心理学科	820,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
	健康栄養学科	900,000 円	220,000 円	220,000 円	
国際コミュニケーション学部 *5	国際政治学科	780,000 円	220,000 円	220,000 円	その他:施設設備資金
	地域行政学科	780,000 円	220,000 円	220,000 円	

\*1 2016 年度以降に入学した学生

\*2 2016 年度に入学した学生のみ (2017 年度より学生募集停止)

\*3 2016・2017 年度に入学した学生のみ (2018 年度より学生募集停止)

\*4 2017 年度以降に入学した学生のみ (2017 年度開設)

\*5 2018 年度以降に入学した学生のみ (2018 年度開設)

## ⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

### a. 学生の修学に係る支援に関する取組

#### (概要)

修学上の問題などを相談できる身近な存在となるチューターを配置している。1・2年次生は所属学部・学科の専任教員が、3・4年次生はゼミナール指導教員がチューターとなることを基本としている。学生生活のすべてにわたって良きアドバイザーとなり、よりよい学生生活を実現させることを目的としている。

また、学習支援体制として、学習支援センターを設置し、3名の学習アドバイザーがレポートやレジュメの書き方、プレゼンテーション、英語の学習等について個別に相談・質問に応じており、2022年度は、対面・非対面（Zoom、メール、電話など）の両方で実施し、約890名の学生が利用している。また、学習支援センター主催の試験準備やレポート作成、英語多読、TOEIC等に関するワークショップ・講座についても、対面で年間23種25回実施し、延べ300名以上の学生が参加した。

学習支援センターではその他、総合型選抜、学校推薦型選抜（公募（専願）・指定校・附属校（専願））の合格者を対象に、キャンパス学習と通信・課題学習の二つを軸とした入学準備学習プログラムを実施している。特に通信・課題学習では、各学科独自の課題（読書、レポート等）に加え、学習支援センターから日本語・英語に関するオリジナルのワークブックとその取組状況を記す「ふりかえりシート」を課し、入学までに2度提出させる。「ふりかえりシート」は、本人の記述に対して学習アドバイザーが手書きのコメントやアドバイスを付し返送することで、学習行動や取組姿勢について考え改善することを促す。

入学後の支援では、1年次前期末成績にて単位僅少指導対象となった学生にフォローアップ面談を行い、当該学生自身の振り返りを促し、必要に応じて学習支援を行う。その後、2年次前期末終了までに再度面談し、1年次学年末成績や現在の学習状況について確認する。また、1年次学年末成績にて新たに単位僅少指導対象となった学生にも同様にフォローアップ面談を実施する。学生によっては、学習状況や生活パターンの改善を促し、学習支援を行うことで主体的学習者へと導くことを主な目的とする。

奨学金については、日本学生支援機構や地方公共団体などの奨学金制度に加え、本学独自の奨学金制度を設け、経済的理由により修学が困難な学生や、家計の急変によって学業の継続が困難になった学生などを対象に、奨学金の貸与・給付を実施しており、毎年多くの学生が利用し学業の継続を実現している。また、優秀な成果を収めた学生を支援する奨学金や成長する学生を支援する奨学金の制度も設けている。

さらに、日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者となっている者については、入学手続き時に入学金の納入と、「大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書（A様式1）」、「大学等奨学生採用候補所決定通知の写し」及び「入学手続き金猶予申請書（本学所定の様式）」を提出することで前期授業料の納入を猶予している。猶予した前期授業料については、5月下旬ごろに減免額を差し引いた額の納付書を送付し、6月中旬を期日として納入する。また、入学手続き時に納入した入学金については、前期授業料の納入期日より前に減免額を返還することで対象者の負担軽減を図っている。

また、「在学学生スカラシップ」、「資格取得スカラシップ」、「課外活動スカラシップ」、「国際交流スカラシップ」など、学術・芸術・社会・教育・文化活動等の分野において、模範となる成績もしくは貢献をした学生・団体を表彰する学長表彰制度も設けている。  
(<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/scholarship/index.html>)

### b. 進路選択に係る支援に関する取組

#### (概要)

本学は、低学年からのキャリア教育支援をベースとし、その先に就職支援を位置づけた支援を展開している。

キャリア支援では、キャリア教育科目が挙げられる。2年次配当科目の「大学生活とキャリア形成」では、卒業後の人生観や労働観など将来にわたるキャリア・ビジョンを描くことの重要性や学生生活のあらゆる経験、場面がキャリア形成の場面であることを学修する。2

年次から4年次配当科目の「広島の実業承継を学ぶ」は、誰しものが将来、企業や組織の後継者となり、事業を承継する機会があることを学修し、経営者としてのキャリアを考えることを目的としている。また、資格取得を支援するキャリア支援講座やインターンシップ参加者へのフォローアップ面接、地元県内企業を巡る企業見学バスツアー等を実施している。

就職支援では、進路相談やエントリーシート添削、模擬面接等の個別面談をはじめ、11回シリーズの就職ガイダンス、グループディスカッション対策、留学生・障がいをもつ学生向け就職ガイダンス、筆記試験対策講座、公務員試験対策講座などの多様なプログラムを実施している。加えて、就職活動にかかる交通費の一部補助する経済的支援も行っている。さらに、2022年度は延べ約550社が参加した学内合同企業説明会の開催や県内及び中四国地域の自治体との連携セミナー、各業界で活躍する本学卒業生を招いてのイベント等、学外の協力も得て支援している。

学生一人ひとりが自律し、卒業後の自らの人生を切り開くことを教職協働で支援している。

#### c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

##### (概要)

保健室では休養室を設置し、看護師の専任2名と臨時職員1名が応急処置や健康相談、障がい者の生活支援などに対応している。また非常勤内科医4名、婦人科女医1名をおき定期的な健康相談日と、管理栄養士による栄養相談日の開設、定期健康診断および健診事後措置として、血圧計や体成分分析装置(InBody)などの測定機器を用いて健康指導を行っている。また感染症予防をはじめ健康講座や禁煙支援など健康教育を実施予定である。感染予防措置としては、学内活動指針のレベルに応じて入室制限を設けている。正課中や課外活動中、通学中など大学管理下とみなされる状況で発生したケガの治療費を給付する制度を設けており、給付申請の対応窓口となっている。

学生相談室では、専従の臨床心理士2名の他に、非常勤の精神科医1名と臨床心理士4名を配置し、心身のケアが必要な学生に対しカウンセリングを中心とした支援を行っている。また、学生対応に当たる教職員に対してコンサルテーションを行ったり、学生対応に関する研修機会を提供している。

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：Webサイト上で公表

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/education.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F134310109866
学校名	広島修道大学
設置者名	学校法人 修道学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		582人	549人	-
内 訳	第Ⅰ区分	331人	314人	
	第Ⅱ区分	157人	158人	
	第Ⅲ区分	94人	77人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				614人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-	-	-
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	16人		
計	25人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	-	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	—		
GPA等が下位4分の1	68人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	68人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。